市町村名	座間味村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	座間味村海域安全隊事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-ウ 安全・安心に暮らせる地域づくり
担当部課名	船舶・観光課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	座間味村内の3ビーチ（古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ）において、観光客が増加する4月から11月シーズンの海難事故防止及び安全確保を図るためにライフセーバーを配置する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	20,266	19,271	24,886	24,973	37,137
	(b) 予算現額	20,266	19,271	24,886	24,577	37,137
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	-396	0
	(d) 繰越額				0	0
	A. 計 (b+d)	20,266	19,271	24,886	24,577	37,137
	B. 執行済額	20266	19270	19018	24,576	37,116
	うち交付金充当額	16212	15416	15214	18,583	29,692
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%	76.4%	100.0%	99.9%

予算の状況の説明：当初予定していたスケジュールで実施できたことにより不用額も出ず執行出来た。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ライフセーバーの配置 ・古座間味ビーチ2名（7月8月は1名増） ・阿真ビーチ2名 ・北浜ビーチ2名	目　標	（GW～10月末常駐）	（GW～10月末常駐）	（4月22日～11月20日常駐）	（4月19日～11月30日常駐）
	実　績	4/18～11/15	ビーチ利用者が少ない日にはライフセーバー1名体制もあった。	7/1～11/20	4/19～11/30
ビーチ周辺の危険個所(座間味シル、阿真シル)及び無人島(安慶名敷島、嘉比島)のパトロール	目　標	（　）	（　）	（　）	（パトロールの実施）
	実　績				パトロールの実施

達成状況説明：令和5年4月19日～11月30日までの期間、一般社団法人沖縄ライフセービング協会に委託し、村指定3ビーチ（古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ）へ常駐、監視業務を行った。
監視員は2名を基本体制とし、繁忙期（GW、7月～8月）においては2名ずつ増員し、9名体制とした。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
ライフセーバー配置期間中の死亡事故0件	目　標	（　）	（0件）	（0件）	（0件）	（　）
	実　績		0件	0件	0件	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：村内3ビーチ（古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ）において、令和5年4月19日～11月30日の期間中、ライフセーバーを配置した。
重篤な溺水事故等もなく、死亡事故を防ぐことが出来たため目標を達成したといえる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	令和4年度の「反省事項」等を踏まえ、平常時に各ビーチ2名の常駐、夏期繁忙期においては2名ずつ追加し12名での体制を行えたことや、ライフセーバーのうち、コントローラー(指定の資格を所持しており5年以上のライフセーバー業務の経験を持つ者)を各ビーチに1名以上配置し監視体制に差が生じないよう徹底したことから、成果目標を達成したと考える。	引き続き、ライフセーバー配置期間中の死亡事故0件を維持するとともに、サービスの質向上と充実に努める必要がある。 ライフセーバーを配置しない冬季閑散期においてもビーチを遊泳する観光客がおり、安全面の観点から対策を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

11月以降の冬季閑散期においても観光客はおり、各ビーチで遊泳している方もいることから、沖縄ライフセービング協会がボランティアでパトロール、声掛け等行って頂いている為、年間を通して活動が行えるような体制を整えていけないか検討を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
37,116	37,116	29,692	7,424	

座間味村 37,116千円 → 委託料 37,116千円 → 一般社団法人 沖縄ライフセービング協会 （令和5年度　座間味村海域安全隊業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・プロポーザル方式にて業者選考を行った。委託事業者は資格等を考慮しており、水難救助という特殊性から妥当と判断したため随意契約を行った。 ・期間、人数から鑑みて適正な規模であった。 ・費用、使途については清算段階で検査を実施し、事業実施に必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	座間味村がんばる観光支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-（10）-ウ 持続可能で質の高い離島観光の振
担当部課名	船舶・観光課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）
事業内容	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充及び県内周知活動、PR素材の制作委託業務を行う。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a)当初予算額	19,550	19,550	19,550	36,090	31,331
	(b)予算現額	19,550	12,977	5,650	23,592	31,331
	(c)増減額(b-a)	0	-6,573	-13,900	-12,498	0
	(d)繰越額				0	0
	A. 計(b+d)	19,550	12,977	5,650	23,592	31,331
B. 執行済額		18201	11143	3204	21,643	32,303
うち交付金充当額		14560	8914	2563	17,314	25,841
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		93.1%	85.9%	56.7%	91.7%	103.1%
予算の状況の説明		コロナ禍が明け、予定していた全ての事業を実施することが出来た。 ホエールウォッチングフェスタにおいては、令和6年3月5日に慶良間諸島が国立公園に指定されて10周年の記念の年となることから、よりイベント内容を充実させた内容に変更し、より誘客を図ることが出来た。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
各種イベントへの支援	目標	（イベント支援6件）	（イベント支援6件）	（イベント支援6件）	（イベント支援6件）
	実績	イベント支援3件	イベント支援2件	イベント支援4件	イベント支援6件
県内外PRイベントの実施	目標	（　）	（　）	（イベントの実施）	（　）
	実績			未実施	
PR素材の制作委託	目標	（　）	（　）	（PR素材の制作）	（　）
	実績			制作完了	
プロモーション施策展開	目標	（　）	（　）	（　）	（PR動画のデジタル配信）
	実績				配信完了

達成状況説明

当初予定していた全ての事業（ケラマブルーカップ、ヨットレース、サバニ帆漕レース、座間味島祭り、座間味島ファン感謝月間、ホエールウォッチングフェスタ）が開催され、補助を行った。
また、令和4年度に制作したプロモーション動画を国内外向けに配信（YouTube、Instagram、Facebook、Tver）を行ったほか、JR東日本トレインチャンネルにて配信した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
入域観光客数112,000人	目標	（　）	（112,000人）	（112,000人）	（112,000人）	（　）
	実績		50,615人	75,413人	94,843人	
	目標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実績					

	進捗状況説明	コロナ禍が明け、入域観光客数においてもコロナ禍以前に戻ってきたが、夏期繁忙期の度重なる台風の襲来による船舶欠航の影響により目標に届かなった。

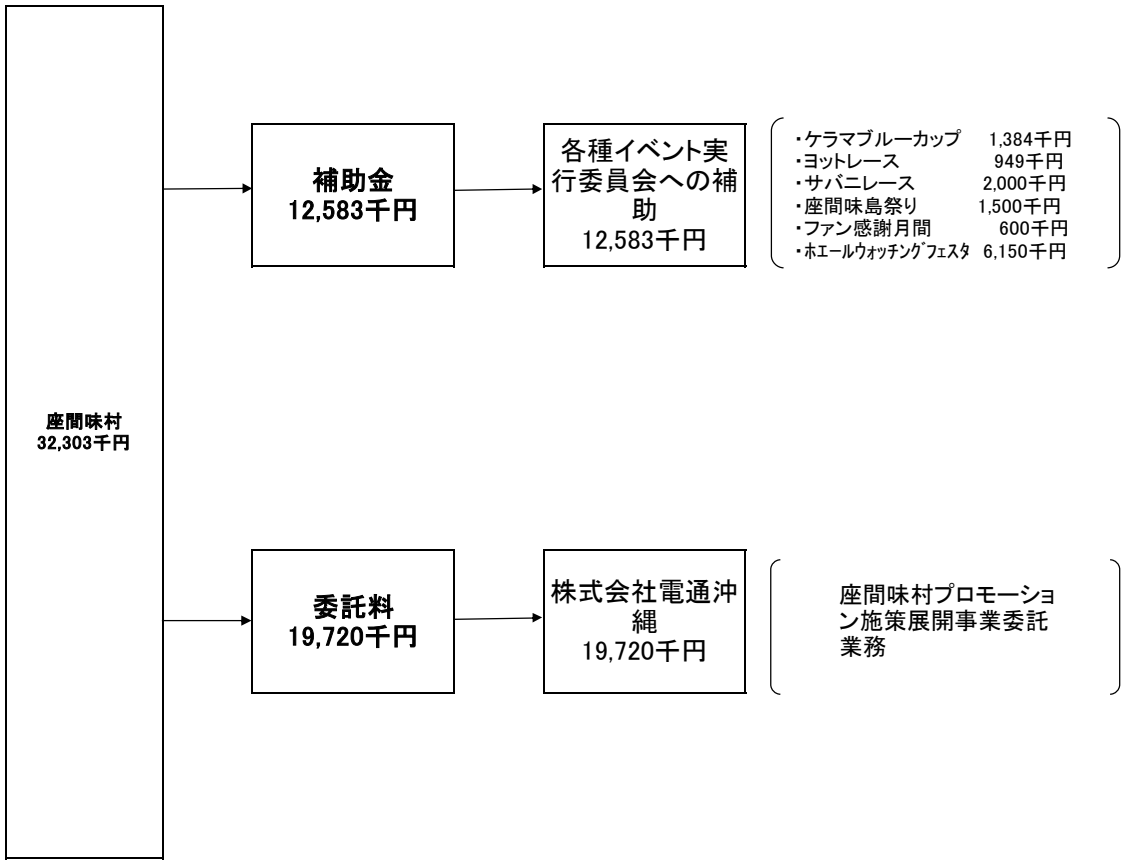
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことにより渡航やイベントの制限が緩和され、本イベントも通常通り開催された。しかし、サバニ、ヨットレースの参加数についてはコロナ前と比較しても8割程度であったことや、夏季繁忙期の度重なる台風の襲来による船舶欠航等があったことが、成果目標未達成の要因と考えられる。 なお、サバニ、ヨットレース参加数がコロナ前と比較して8割程度に留まった理由として、両レースがコロナ第5類移行後の翌月（6月）開催であったことから、短期間で船の整備やチーム編成、練習時間確保が難しく、参加が難しいと判断した方々が一定数いたものと考えられる。	夏場の誘客については本イベント等により集客が図られているが、冬季の誘客が不十分であることから、インバウンド向け施策の実施や、内容の検討を行う。 プロモーション動画施策展開事業においては今年度実施した内容を検証し、より効果的な配信方法等の検討を行う。 台風シーズン中に開催を予定しているイベントについては、日程を見直せないか検討を行う。

今後の取り組み方針

毎年同じ内容でのイベントの開催となっている事から、新たなイベントの創出、既存イベントのブラッシュアップを行い、新たな観光誘客に繋げられるよう検討する。
また、プロモーション動画の配信においては今年度の検証をしっかりと行い、冬場の集客により有効なPR方法を検討していく。
更に、台風シーズン中に開催を予定しているイベント(座間味島祭り)については、日程を見直せないか検討を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
32,303	32,303	25,841	6,462	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、プロポーザル方式にて選定しており、妥当であったと考えている。また、補助金等の支出については、実施に必要な費用から積算されており、妥当である。 ・予算規模は事業規模に見合った範囲内で設定しており、妥当であると考える。 ・事業内容や事業目的等から判断して妥当であると考える。 ・費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	座間味村観光受入拠点事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-（10）-ウ 持続可能で質の高い離島観光の振
担当部課名	船舶・観光課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容	年中無休の観光案内業とタイムリーな観光情報発信及び村内事業者への取次案内などをスムーズに実施し、外国人を含めた観光誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会へ支援を行い、観光客の誘客と満足度の向上を図る。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a)当初予算額	16,398	16,660	15,504	16, 722	16, 911
	(b)予算現額	16,398	16,660	15,504	16, 722	16, 911
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
	(d)繰越額				0	0
	A. 計(b+d)	16,398	16,660	15,504	16,722	16,911
B. 執行済額		14, 566	13,863	12,034	14,383	16,701
うち交付金充当額		11, 652	11,090	9,627	11,506	13,360
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）（B/A）		88.8%	83.2%	77.6%	86.0%	98.8%

予算の状況の説明	コロナ禍も明け、コロナ前と同様の観光客も入域してきたことから、窓口業務等での案内等は予定通り行うことが出来たが、PRにおける県外への出張等においては人数を削減しての参加となったことから予算残が発生した。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
観光案内所年中無休（台風時は閉鎖）	目　標	（365日）	（365日）	（365日）	（366日）
	実　績	365日	365日	365日	360日
村内外誘客活動	目　標	（8回）	（8回）	（8回）	（7回）
	実　績	0回	1回	4回	5回
観光事業従事者スキルアップ講座 新規メニュー開発4回 心肺蘇生講習会2回	目　標	（8回）	（8回）	（8回）	（7回）
	実　績	0回	1回	4回	6回

達成状況説明	・新型コロナウイルス感染症の第5類への移行に伴い、観光案内業務において年中無休で実施した。 ・村内外の誘客活動においては目標回数が年7回だったが、5回しか行う事が出来なかった。 ・観光事業者スキルアップ講座、新規メニュー開発に関しては目標回数行うことが出来たが、心肺蘇生講習会において1回しか実施出来なかった（台風襲来による中止）。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
観光客の利便性向上が図られたか（80%以上）を、アンケートにより実施する。	目　標	（　）	（満足度80%以上）	（満足度80%以上）	（満足度80%以上）	（　）
	実　績		80.2%	86.2%	85.30%	
観光客へのおもてなしに活用できると感じたか（80%以上）を含め、講習会に参加した観光業従事者へのアンケートにより、本事業の在り方を検証する。	目　標	（　）	（満足度80%以上）	（満足度80%以上）	（満足度80%以上）	（　）
	実　績		未実施	未実施	90%	

	進捗状況説明	・観光客へのアンケート調査の結果、回答のあった280件のうち、238件が「満足」といった回答であった。 ・観光業従事者に対するおもてなし向上のための講習会においては回答のあった80件のうち72件がおもてなしに活用できるといった回答であった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（観光客の利便性向上） 日本人への観光案内はもとより、インバウンド対策としてCIRを配置し外国語対応を行えていることから、満足度向上に繋がっていると思われる。 （おもてなし活用） 観光事業所向け講習会の実施においては、より効果的なSNSでの情報発信のノウハウ等、各事業所において有益な講習会の実施を行えたことから目標達成に至ったと考えられる。	（観光客の利便性向上） 観光協会職員の人手不足が顕著であり、事業を推進するうえで体制強化が必要である。 また、新型コロナウイルスの影響により中止となっていたイベントの再開や、激減していた観光客数がコロナ以前に回復しつつある中で、運営ノウハウを備えたスタッフが退職等で少なくなっている。 （おもてなし活用） 観光事業者や各団体において実施を希望する講習会内容をアンケートにてとりまとめる。

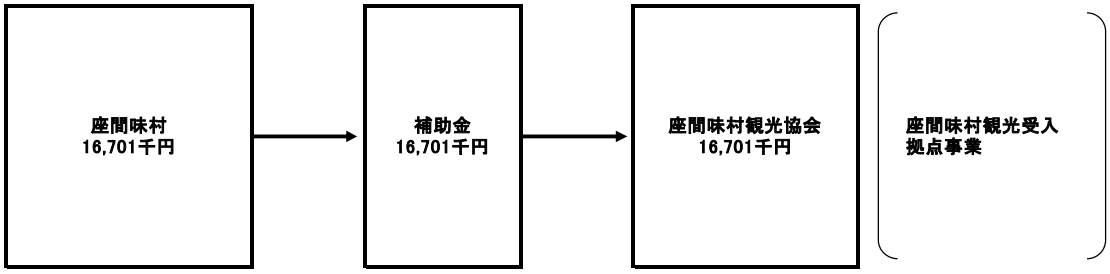
今後の取り組み方針

（観光客の利便性向上）
円安の影響もあり、今まで以上のインバウンドの入域が増える事が見込まれることから、窓口案内業務における外国語対応スタッフの配置、パンフレット等の整備に取り組む。また、DXへの取り組みについても他地区の観光協会の事例等も参考にしながら検討していく。

（おもてなし活用）
引き続き、より有益な講習会を提供できるよう努め、観光受入体制強化に繋げる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,701	16,701	13,360	3,341	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助金等の支出については、実施に必要な費用から積算されており、妥当である。 ・業務内容に見合った予算規模であるといえる。 ・受益者である観光協会は事業費の1割を自己負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当である。 ・費目、使途については生産段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－④	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア
					沖縄文化の継承・発展・普及
担当部課名	座間味村教育委員会	事業実施（予定）年度	平成29～令和６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

座間味村は沖縄戦での米軍の上陸第一歩の地となっているが、沖縄県内においてもその事実はあまり知られていない。
また、村内に多く点在する戦跡等を活用した事業等の取組についても十分ではない。
村内各地に点在する戦跡等の説明板・案内看板、周辺の環境整備等を行うことにより、村内小中学生による平和学習、地域住民はもとより、観光客の方にも平和について学ぶ機会となり、村外・県外等の修学旅行生や、団体旅行客にも、戦跡等を活用した平和学習事業や取組を行うことができる。

効果発現年度　□当年度　■後年度（令和7年度）

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R2年度	R2年度（繰越）	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	24,382			5, 830	33, 100
	(b) 予算現額	23,430			5, 720	30, 888
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 952		0	▲ 110	▲ 2,212
	(d) 繰越額	0	14,498			
	A. 計 (b+d)	23,430	14,498	0	5,720	30,888
B. 執行済額		8, 932	14,498		5,720	30,888
うち交付金充当額		7,145	11,599		4,576	24,710
次年度繰越額		14, 498				
執行率 （%） (B/A)		38.1%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%

予算の状況の説明：増減額については、入札の結果、入札残が発生し当初見込みよりも減額となった。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度（繰越）	R3年度	R4年度	R5年度
座間味島内の戦跡の周辺環境整備工事/施工管理（昭和白鯱隊の碑、躑躅の塔、集団自決の碑）	目　標	（慶留間島内の戦跡等の周辺環境整備の完了）	（　）	（調査業務 設計業務）	（座間味島内の戦跡等の周辺環境整備の完了）
	実　績	環境整備工事・施工管理の完了		実施	実施
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：座間味島内の戦跡等（昭和白鯱隊の碑、躑躅の塔、集団自決の碑）周辺の環境整備工事を実施、完了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R4年度	R5年度		目標値（令和6年度）
座間味島内の戦跡の周辺環境整備工事/施工管理の完了（昭和白鯱隊の碑、躑躅の塔、集団自決の碑）	目　標	（　）	（完了）	（完了）	（　）	（完了）
	実　績		完了	完了		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：座間味地内の戦跡等（昭和白鯱隊の碑、躑躅の塔、集団自決の碑）の周辺の環境整備を実施、完了した。

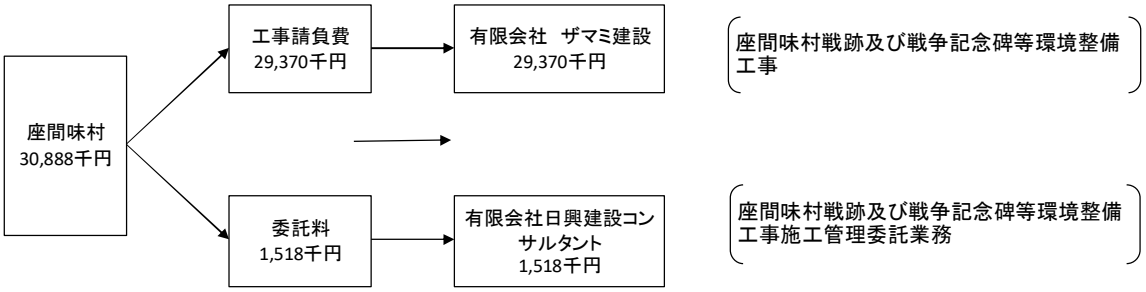
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	工事の規模は大きくないが、3か所に渡る工事であることと、工事を実施するにあたり環境省の許可（1か所は南部土木事務所）のもと実施する必要があり、使用する資材の種類、カラー等について指示のとおり正確に実施した。 また、工事する範囲が狭い、車両が通る場所ではない為、人力で資材を運ばなければならない場所もあり、その方法についても適宜工夫したことで、年度内に完了することができた。	令和5年度中で完了することができたが、1か所において、他課の工事のため搬入路が重なる事象があった。急に発生した工事だったため、担当において情報を把握しておらず、双方の現場監督及び担当で搬入について日程調整等を行った（現場にて）。各課において工事の情報等を共有することでよりスムーズに事業を実施できたと考える。

今後の取り組み方針

令和6年度実施予定の平和の塔の進入路の整備を行い、戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業の完了を目指す。
庁内会議を通じて、各課が所管する工事の情報等の共有を行う。
完了後は、村内各種団体、宿泊施設、観光業経営者、住民にこの整備事業について周知し、村民、観光客、修学旅行等の利用を促す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,888	30,888	24,710	6,178	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額はなく、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑤	座間味港緑地公園照明設備更新事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-イ 県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備
担当部課名	座間味村教育委員会	事業実施（予定）年度	令和４～令和５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	村内のイベントでの活用や県内外のスポーツ団体の利用、合宿誘致を推進し、観光とは違う形での誘客を図ることを目的とし、本村の持続的発展、地域活性化に向けて、座間味港緑地公園グラウンドの照明設備の設置工事を行う。 現在、緑地公園グラウンドに設置されている照明設備については、台風による被害や老朽化により、使用が出来ない状況にあることから、撤去する。
効果発現年度	□当年度　■後年度（令和6年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度			
予算の状況	(a) 当初予算額	5,863	92,122			
	(b) 予算現額	5,863	77,854			
	(c) 増減額 (b-a)	0	-14,268			
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	5,863	77,854			
B. 執行済額		5,863	70,829			
うち交付金充当額		4,690	56,663			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	91.0%			
予算の状況の説明		増減額については、入札の結果、入札残が発生し当初見込みよりも減額となった。 また、令和5年度総事業費74,855千円のうち、4,026千円は対象外経費（磁気探査）となる。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度		
座間味港緑地公園照明設備の更新	目　標	（座間味港緑地公園照明設備更新に係る実施設計）	（緑地公園照明設備更新に係る工事の実施）		
	実　績	緑地公園照明設備更新に係る実施設計の完了	緑地公園照明設備更新の完了		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	令和5年度については、更新工事を実施、完了した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R4年度	R5年度		目標値（R6年度）
座間味港緑地公園照明設備の更新完了	目　標	（　）	（設計の実施）	（更新工事の完了）	（　）	（利用開始）
	実　績		完了	完了		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	令和5年度については、更新工事を実施、完了した。令和6年度から利用開始とする。					

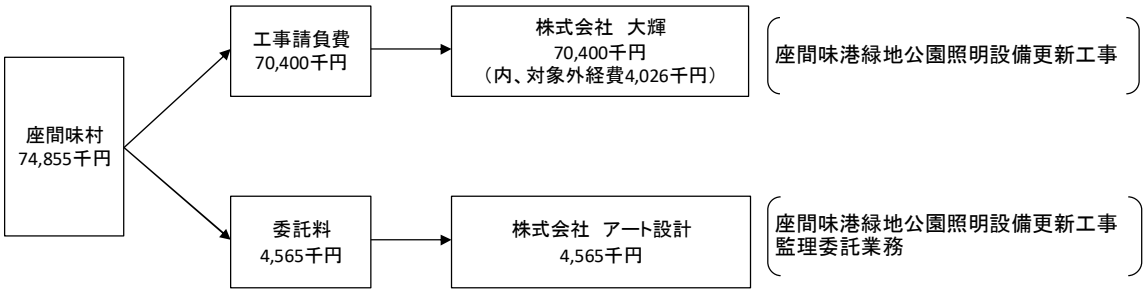
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	成果目標達成の為、照明設備の更新期間中は緑地公園グラウンド全体を利用禁止とし、資材置き場等も含めすべてグラウンド内で対応できるよう調整した。 また、工期中、村内において他工事が進行中につき、資材等の運搬に欠かせない船舶の予約が取れない恐れがあったため、他工事の進捗状況を把握しながら、本工事に係る作業員や必要資材、工事車両等の運搬に係る船舶の予約等を調整したことにより年度内に完了できた。	今後供用を開始するにあたり、令和5年度まで中止していた体協等のスポーツイベントの再開、県内外から来るスポーツ団体の合宿のトレーニング会場としての利用開始、住民向けの健康促進事業の開催等や無料回付等による運動習慣定着の取組みを企画し、公園照明を活用していく必要がある。

今後の取り組み方針

令和5年度中で座間味港緑地公園照明設備の更新工事を完了した。令和6年度には利用開始とする。
令和5年度まで、中止していた体協等のスポーツイベントの再開、県内外から来るスポーツ団体の合宿のトレーニング会場としての利用開始、住民向けの健康促進事業の開催等や無料回付等による運動習慣定着の取組みを通じて、公園照明の活用に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
74,855	70,829	56,663	14,166	4,026



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○流用手続きに間に合わず執行率91.0%となったが、予算規模は適正な規模であった。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-（8）-エ 離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)

事業内容	離島交通ネットワーク手段の確保として、船舶欠航時やダイヤ変更時にチャーターヘリコプターを利用した際の運賃の一部を補助する。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,000	2,760	2,160	3,300	3,300
	(b) 予算現額	3,000	2,100	2,160	4,300	3,300
	(c) 増減額（b-a）	▲3,000	▲660	0	1,000	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計（b+d）	3,000	2,100	2,160	4,300	3,300
B. 執行済額		1740	1470	1080	3,750	2,300
うち交付金充当額		1392	1176	864	3,000	1,840
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）（B/A）		58.0%	70.0%	50.0%	87.2%	69.7%

予算の状況の説明：令和4年度は当初の想定を上回る利用があったことを考慮し、令和4年度当初と同程度の利用を見込み、令和5年度の設定を行った。しかしながら、本事業は天候や海況などの自然が大きく関係するものであり、補助要件である船便の欠航が少なかったため、50千円×46フライト、2,300千円となり、1,000千円の不用額が発生した。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
村営船舶航路欠航時等におけるチャーターヘリコプター費用の支援実施	目　標	（　支援　）	（　支援　）	（　支援　）	（　支援　）
	実　績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：慶良間空港～那覇空港間の運行回数46回分の運賃の一部支援を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（　年度）
利用者アンケートを行い、「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。	目　標	（　）	（80%）	（80%）	（80%）	（　）
	実　績		99.1%	99.5%	99.1%	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：アンケート調査の結果、回答のあった107件のうち、97件が「大満足」、9件が「満足」、1件が「やや満足」といった回答であった。利用者の満足度は非常に高く、主に船舶欠航時の代替の移動手段があること、船に比べ移動時間の短縮になることに対し、利便性が図られたといった感想が多く寄せられた。

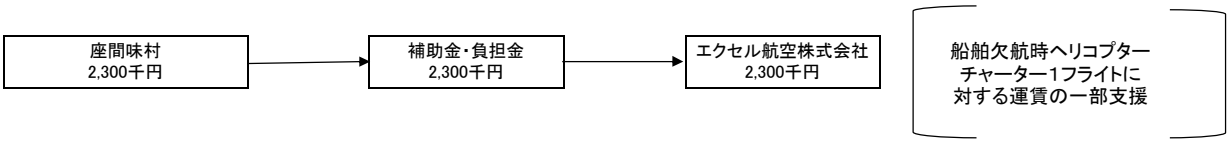
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（利用客の満足度） ・利用者アンケートの満足度は高く、船舶欠航時の代替移動手段として高い評価を得ている。 ・利用者の大部分が日本人のため、日本語で用意したアンケートへの協力依頼がスムーズに進められた。しかし、アンケート用紙が日本語版のみとなっているので国外利用者への案内に課題があった。	（利用客の満足度） ・引き続き利用者から高い評価を得ることが出来るよう努める。 （アンケート結果の分析による利用客層について） ・今年度は外国人の利用があったがアンケートに回答いただけなかったことを踏まえ、次年度は英語版アンケート用紙を作成準備する必要がある。

今後の取り組み方針

（外国人のアンケート回答について）
・利用者名簿を確認したところ、外国人の利用はあるがアンケートの回答が得られていないことから、次年度はアンケート用紙を日本語版に加え、英語版を作成し対応する。
　また、アンケートに回答してもらえない場合は、口頭での情報を得て反映していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,300	2,300	1,840	460	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内においてヘリコプターによる輸送業務を行う事業者は当事業者しか無いという理由から、地方自治法第167条の2第2項に基づき随意契約を行った。 ○不用額1,000千円が生じたが、コロナ明けにより昨年度は利用増加したことからこれを鑑み設定したものであり、予算規模は適正である。 ○受益者負担は最大5人利用時に高速船の那覇発往復料金と同等となっており、妥当である。 ○事業の使途については、実績報告、額の確定時において書類等により確認しており、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	座間味村自動車航送運賃低減化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-エ 離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築
担当部課名	船舶・観光課		事業実施（予定）年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)

事業内容	離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るため、高額である本島～座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,199	4,199	3,854	5,222	4,506
	(b) 予算現額	4,199	4,420	4,678	5,222	4,506
	(c) 増減額 (b-a)	0	221	824	0	0
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	4,199	4,420	4,678	5,222	4,506
B. 執行済額		4077	4420	5,092	5,885	5,925
うち交付金充当額		3261	3535	4,073	4,078	4,739
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		97.1%	100.0%	108.8%	112.7%	131.5%

予算の状況の説明：当初4,506千円ほどの想定をしていたが、100台近く想定より多くなってしまった為1,419千円の増額補正を行った。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
車両航送運賃の低減化支援	目　標	（支援の実施）	（支援の実施）	（支援の実施）	（支援の実施）
	実　績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	支援の実施
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：沖縄本島での公共交通機関の混雑、レンタカー不足・料金高騰もあり、安全で廉価な移動手段として自家用車を使用するために車両航送を利用する方もおり、支援台数は当初の想定より100台以上多かった。
（4月 68台、5月 34台、6月 60台、7月 51台、8月 55台、9月 59台、10月 68台、11月 66台、12月 70台、1月 54台、2月 64台、3月 54台）
当初想定していた車両台数より多く運賃低減化支援を行うことが出来た。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
利用者アンケートを行い、「事業に満足している」との回答80%以上を目標とする。	目　標	（　）	（80%以上）	（80%以上）	（80%以上）	（　）
	実　績		82.0%	82.6%	90.8%	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：アンケートを実施し、365件中330件が満足しているとの結果であった。（満足度90.8%）

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・利用者アンケートの結果、利用者満足度は目標の80%に届いた。 ・コロナ5類移行後も続く本島レンタカー料金の高止まりや食料品・燃料代など様々な物価が高騰し続けている状況の中での、運賃低減による支援であったことが目標達成の要因であると考える。 ・また、過年度において、利用者数とアンケート集計数に乖離があり、アンケートに協力頂けない利用者がいたことから、アンケートの内容見直しやアンケート依頼方法を見直した結果、過年度よりも多くのアンケートを収集できたことも目標達成の要因と考える。	・物価高騰が続く中、「事業に満足している」との回答が90.8%と高い水準にある本事業を継続していく必要がある。 ・アンケートの更なる収集のため、アンケート内容の見直しを継続して取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

・沖縄振興特別推進交付金を活用した事業であること、離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るために車両航送運賃の一部を支援している事業であることを利用者に認識してもらい、更なる利用者の満足度向上を図る為、アンケート内容の更なる改善に向けて取組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,925	5,925	4,739	1,186	

座間味村 5,925千円 → 補助、負担金 5,925千円 → 航路事業者 5,925千円

（フェリー車両航送に係る）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の支出については、実施に必要な費用から積算されており、妥当である。 ○予算規模については、適正な規模となっている。 ○受益者については、実施要綱に定めたとおり正規料金の5割を自己負担としており、負担関係は妥当だと考える。 ○座間味村自動車航送運賃低減化事業の実施要綱に定めたものに限定し執行している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	座間味村冬季船運賃低減化実証実験事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-（10）-ウ
担当部課名	船舶・観光課	事業実施（予定）年度	令和4～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振 Ⅲ-9-(2)

事業内容	入島手段が船舶に限られる座間味村では、オフシーズン（冬季1月～3月）における観光客の落ち込みが見られる。 冬季観光客の増加と年間観光客数の平準化を図るため、那覇発の往復船舶運賃を低減化する実証実験を行う。
効果発現年度	■当年度　　□後年度（　　年度）
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度			
予算の状況	(a) 当初予算額	9,085	8,085			
	(b) 予算現額	9,085	8,085			
	(c) 増減額（b-a）	0	0			
	(d) 繰越額					
	A. 計（b+d）	9,085	8,085			
B. 執行済額		12,805	12,158			
うち交付金充当額		10,244	9,725			
次年度繰越額						
執行率（%）（B/A）		140.9%	150.4%			
予算の状況の説明		目標8,000名を大幅に上回る15,419名（＋7,419名）の利用となったため、4,073千円の増額補正を行った。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度		
冬季（1月～3月）における船舶運賃低減化	目　標	（　支援の実施　）	（　支援の実施　）	（　　）	（　　）
	実　績	支援の実施	支援の実施		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				
達成状況説明	当初の想定より入域客数が多く目標数値以上の運賃低減化支援を行うことが出来た。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R3年度	R4年度		目標値（　年度）
1月～3月旅客数：8，000名以上 1月～3売上：34百万円以上名以上	目　標	（　　）	（9,500名 40,000千円）	（8,000名 34,000千円）	（　　）	（　　）
	実　績		14,851名 47,335千円	15,419名 48,628千円		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の5類以降及び、観光需要喚起策の全国旅行支援等もあり当初の想定より多くの観光客が来島した。 （1月 4,023人　12,332,000円）、（2月 5,755人・18,227,880円）、（3月 5,641台・18,068,160円）　合計　15,419人・48,628,040円					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	目標値を達成することが出来たが、全国旅行支援等の要因もあった為、乗船料の冬季低減による入域客数の増加となるのか次年度以降も引き続き検証を行う必要がある。	目標数値以上の結果となり、より多くの観光客の経済的負担を軽減することが出来た。乗船して初めて知ったとの声もあったことから広報等については改善の余地がある。今年度の検証結果を踏まえ更なる利便性の向上に努める必要がある。

今後の取り組み方針

・目標数値は達成したものの、全体の入域客数からすると平準化が図れているとは言えないので、村HP、SNS等での告知を更に充実させ冬季観光客の増加と年間観光客数の平準化を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,158	12,158	9,725	2,433	

座間味村 12,158千円 → 補助、負担金 12,158千円 → 航路事業者 12,158千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の支出については、実施に必要な費用から積算されており、妥当である。 ○予算規模については、適正な規模となっている。 ○受益者は、実施要綱に定めたとおり正規料金の8割を負担しており、負担関係は妥当である。（正規料金の2割を低減） ○座間味村冬季船運賃低減化実証実験事業の実施要綱に定めたものに限定し執行している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-④	座間味村大型2種免許取得助成事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-エ 離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築
担当部課名	船舶・観光課	事業実施（予定）年度	令和4～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)

事業内容	座間味村内の唯一の公共交通機関である村営バスについて、大型2種免許取得者が村内に少数であることから、今後のバス運行を安定的に続けるための運転手確保を目的とし、免許取得費用並びに取得期間における宿泊費や交通費の支援を行う。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　□委託　□補助　■負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,833	6,136			
	(b) 予算現額	2,833	6,136			
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	2,833	6,136	0	0	0
B. 執行済額		0	419			
うち交付金充当額		0	334			
次年度繰越額			0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	6.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		令和5年度は大型2種運転免許取得費用助成者が1名となった為、5,718千円の減額補正を行った。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況			
		R4年度	R5年度		
大型2種運転免許取得者への取得費用の一部助成 取得期間の宿泊費用、交通費、船舶運賃の全額助成	目　標	（助成実施）	（助成実施）	（　）	（　）
	実　績	助成未実施	助成未実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	目標10名に対し実績1名と当初目標を下回る結果となった。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度		目標値（年度）
助成人数：10名	目　標	（　）	（助成者10名）	（助成者10名）	（　）	（　）
	実　績		助成者　0名	助成者　1名		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	目標10名に対し実績1名と当初目標を下回る結果となり、成果目標の達成には至らなかった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・教習費用一部助成の上限引上げや対象年齢を拡大したうえで、10月に本事業を開始したが、既に民間企業等に従事している者にとって、免許取得に向けた休暇の取得などが難しい状況であったことや、年度末に向けて教習所の予約が取りづらい状況となったことが、成果目標を下回った原因と考えられる。	・繁忙となる夏が到来する前に公募開始を行う必要がある。 ・年度末に向けて教習所の予約が取りづらい状況を回避する必要がある。 ・教習所の予約状況に柔軟に対応できるよう、取得に係る費用の上限（宿泊費・交通費最長20日分、交通費最大20往復分）を見直しする必要がある。

今後の取り組み方針

・村営バス安定運行のための大型2種免許取得者の確保に向けて、繁忙となる夏が到来する前に公募開始を実施する。
・年度末に教習所の予約状況が取りづらい状況を踏まえ、公募開始期間を年内末までとする。
・取得に係る費用の上限を拡大（宿泊費・交通費最長30日分、交通費最大30往復分）を拡大し、公募をできるように検討を進める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
419	419	334	85	

座間味村 419千円 → 補助、負担金 419千円 → 免許取得者 419千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付要項を基に支出している為、妥当だと考える。 ○予算規模について、不用率93.2%につき適正な規模とは言えない。事業開始が10月開始となったこと、年度末に向けて教習所予約が取りづらい状況を見極めきれず流用等の対応ができなかったことが要因である。次年度は、早期に事業見極めを実施し、不用額の圧縮並びに早めに流用等の調整に努める。 ○受益者については、交付要綱どおりの負担割合であり、事業内容からも妥当だと考える。 ○座間味村大型2種免許取得助成金交付要綱に定めたものに限定し執行している。
	×	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	